



▲縁起物「五葉松」(えんぎもの「ごようまつ」)

## 日本の「年末」と「年始」



日本人は一年の始まりと終わりを大切にしてきました。そこで、今回は日本人の一般的な「年末」と「年始」の過ごし方を紹介しましょう。

12月の末(28日ごろ)から翌年の1月1日から3日までの三日は役所や会社や病院また多くの店は休みに なります。12月31日は「大晦日」といいます。この日は新年を迎える準備に忙しい一日です。おせち料理\*1を作り家の大掃除をして新しい年を気持ちよく迎える準備をします。

夜は家族で年越しそば\*2を食べます。夜中12時ごろに全国各地で「除夜の鐘」が108回鳴ります。人々はそれを聞きながら新年を迎えます。

1月1日は「元日」といい、元日の朝を「元旦」といいます。家族そろっておとそ\*3を飲みおせち料理と雑煮\*4を食べ新年を祝います。日本には「一年の計は元旦にあり」\*5という言葉があります。日本人は一年の始まりとしてお正月をとて大切にしてきました。

年賀状\*6が届き普段会えない友人たちと心が通じる楽しみもあります。

多くの人は一年の幸せを願い神社や寺院へ初詣\*7に行きます。

どうか皆さんの新年が健康でよい年となりますように。



▲干支の木目込み(えとのきめこみ)

### ※1: おせち料理

幸せを重ねるという願いをこめ料理を重箱に詰める。地方や家庭により中身は違う。

- 一の重: 黒豆 数の子 ごまめなどの縁起もの
- 二の重: 伊達巻 きんとんなどの甘いもの
- 三の重: 魚や海老の焼き物などの海のもの
- 四の重: 野菜などの煮物

### ※2: 年越しそば

そばの形が長いので長生きする縁起ものと考えられている。

### ※3: おとそ

中国から伝わった「屠蘇散」という煎じ薬を日本酒にひたしたものを。元旦に飲むと一年間健康で過ごせるとされている。



### ※4: 雑煮

一年の無事を祈りお正月に食べる。餅や野菜を入れた汁の料理で地方や家庭により違いがある。

### ※5: 「一年の計は元旦にあり」

元旦に目標をたてそれに沿って進めると一年がうまくいくということわざ。

### ※6: 年賀状

新年のあいさつ回りをする代わりとしてはがきを出すようになったもの。

### ※7: 初詣

新しい年が明けて初めて寺社などにお参りすること。



### 編集後記

9月30日(木)に、神奈川新聞・加藤川崎総局長を講師にお迎えして、「広報についての研修会」が川崎市国際交流協会で開催されました。読者の皆さんの感想をフィードバックすることがより良い紙面作りにつながるそうです。今回はプレゼント(P3参照)もありますので、ぜひ「SIGNAL」についてのご意見をお寄せ願います。(編集ボランティア 青柳尚子)

SIGNALに対するご意見・感想がございましたら、ぜひ、FAXやE-mailでお聞かせください。(FAX:044-435-7010 E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp)



発行 川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町2番2号

TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010 http://www.kian.or.jp/kic/

印刷・製本 八幡印刷株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-9-7-403 TEL 03-3493-4381 FAX 03-3493-4382